

日本お笑い史
～笑いをテーマに5分で眠くなるLT～

ID: arihh

自己紹介

- ID: arihh (ありひ～)
- 職業: Web系プログラマ
- 好きなお笑い芸人:
いつもここから、ラバーガール、
アンジャッシュ、とんねるず
- 好きなバラエティー: 8時だヨ!全員集合

アジェンダ

- 5分間でお笑い史ダイジェスト
- 昔をなつかしんでもらう

最古のお笑いは？

- 岩戸隠れ
スサノオがDQN。

姉のアマテラス、日本初の引きこもり。

アメノウズメ、草〇(SMOP)る。

アマテラス「引きこもってる場合じゃねえ！」

つと、

ぐぐって見た。

なにがって？ 今回のタイトル。

先にやられてた！！



ウィキペディア
フリー百科事典

ナビゲーション

- [メインページ](#)
- [コミュニティ・ポータル](#)
- [最近の出来事](#)
- [新しいページ](#)
- [最近更新したページ](#)
- [おまかせ表示](#)
- [練習用ページ](#)
- [アップロード \(ウィキメディア・コモンズ\)](#)

ヘルプ

- [ヘルプ](#)
- [井戸端](#)
- [お知らせ](#)
- [バグの報告](#)
- [寄付](#)

[ログイン](#)または[アカウント作成](#)

[本文](#) [ノート](#) [編集](#) [履歴](#)

日本お笑い史

出典: フリー百科事典『[ウィキペディア \(Wikipedia\)](#)』



この記事は、[中立的な観点](#)に基づく疑問が提出されています。



この記事の内容の信頼性について[検証が求められています](#)。確認のための文献や[情報源](#)をご存じの方はご提示ください。[出典を明記](#)し、記事の信頼性を高めるためにご協力をお願いします。必要な議論を[ノート](#)で行ってください。



この記事や節の内容に関する文献や[情報源](#)を探しています。[出典を明記](#)するためにご協力をお願いします。



この記事や節に『[独自研究](#)』に基づいた記述が含まれているおそれがあります。[Wikipedia:独自研究は載せない](#)を確認の上、[情報](#)、[解釈](#)、[評価](#)、[分析](#)、[総合](#)の根拠となる出典を示してください([テンプレート](#))。

日本お笑い史(にほんおわらいし **Japanese Comedy History**)とは、[日本](#)に於けるお笑い・演芸の歴史である。

目次 [非表示]

- 1 [古代](#)
- 2 [中世](#)

しかも詳しい！

■ ■ ■

これをパク・・・

こまけえこたあ
いいんだよ!!!

近世(江戸後期)までのお笑い

- 配信できるメディアが少ないので、見に行くしかなかった。

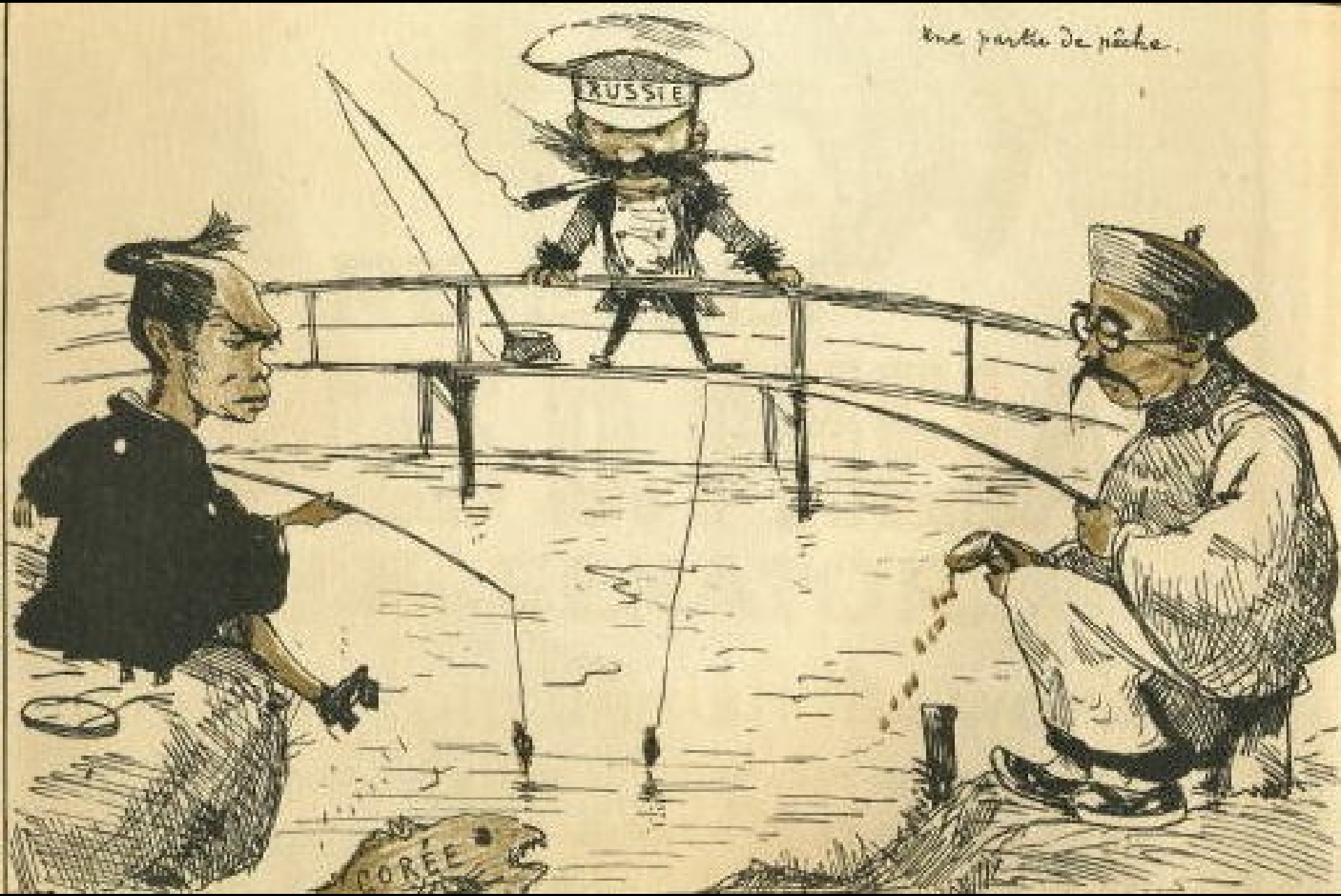
例) 狂言、歌舞伎、浄瑠璃

- マンガ界では江戸時代に鉄棒ぬらぬら先生という世界に通用する絵師がいた。

近代(明治時代)のお笑い

- 海外からの技術参入とはいっても、大衆(サブカル層)には高すぎた。
- 映画はあったけど、プロパガンダとして存在
- ただ、出版界ではビゴーが風刺画書いてた。

une partie de pêche.



成金時代(大正～昭和初期)

暗くてお靴が見えないわ。どうだ明るくなっただろ時代。

- お金があるからついに映画が大衆化
- ラジオ・サイレント映画(トーキー)の時代
- チャップリン、徳川夢声、榎本健一、古川ロッパもこの時代。

漫才の登場(戦前から戦後まで)

吉本・松竹の登場。漫才の登場。

- 元は平安期ころから続いていた萬歳
- トーキーが漫談となり、結びつく
- エンタツ・アチャコ

テレビの登場(‘60～’70年頃)

見に行く形からお茶の間へ

- 1964年の東京五輪から急激に普及
- 芸人たちも場をテレビに移す
- 大御所と言われる存在はこのころの人
- 「笑点」もこの頃からスタート

ドリフ時代(‘70～’ 80年代前半)

- 1969年、「8時だヨ!全員集合」がスタート。
- 以降70年代から80年代前半はドリフの時代。
- 伝説となったコント
 - ヒゲダンス
 - 東村山音頭
 - ちょっとだけよ
 - 金ダライ

土曜の夜8時の戦い

8時だヨ!全員集合

→オレたちひょうきん族

→加トちゃんけんちゃんごきげんテレビ

→ウッチャンナンチャンのやるならやらねば!
マジカル頭脳パワー!!

このあたりからTVとPTAも戦いが過激化。

第三世代(‘90年代)

- 師匠を持たない、新しい人たち
 - とんねるず、ウッチャンナンチャン
ダウンタウン

- 汚れ芸人

「芸人は笑われてはダメだ。笑わせる！」

→逆に笑われるポジションを狙う

- ダチョウ倶楽部、出川哲朗、山崎邦正

芸人消費時代(21世紀)

- バブル崩壊期
セットにお金を出すのではなく、
安い芸人を数多くだし、
速くネタを数多く見せる。
- タモリのボキャブラ天国
 - 爆笑問題、海砂利水魚、ネプチューン
- 電波少年

消費時代の芸人タイプ

- 司会などで売れっこに
 - ナイナイ、爆笑問題、ネプチューン、くりいむしちゅー、オリエンタルラジオ
- 一発ネタでブーム
 - パイレーツ、波田陽区、レーザーラモンHGなど
- 中堅の存在(雑壇芸人の存在)
 - 汚れ芸人、ダブルこうじ、勝俣州和など

お笑いの大会ブーム

- M-1
- R-1
- オンエアバトル
- キングオブコント
- レッドカーペット
- イロモネア

などなど

インターネットの時代

- ネットの口コミで広まった芸人
(メディアに嫌われても一部で残れる)
 - 鳥居みゆき、小島よしお、鳥肌実
- 素人がネタを披露できる場
(ハガキ職人の今の形?)
 - 2ch、ニコニコ動画、ネット大喜利

まとめ

- 自分が楽しめるお笑いを見ることが一番。
- 皆さんに伝えなかったこと。
 - 鉄棒ぬらぬら先生
 - 土曜8時戦争
 - 5分でやれる内容でなかった

ご清聴ありがとうございました。